

ICT実践力強化のためのコア人材育成(ITアーキテクト/CIO/セキュリティ) ICT Core personnel Development(IT Architect/CIO/Security)		継続
対象国の条件：		
研修コース番号：(A) 201984573-J002/(B) 201984574-J002/(C) 201984575-J002		
案件番号：(A) 201984573/(B) 201984574/(C) 201984575		
主分野課題：情報通信技術（ICTの利活用を含む）/ICTの利活用		
副分野課題：		
使用言語：(A) 英語/(B) 英語/(C) 英語		
案件概要		
行政サービスの向上は、社会経済発展のための前提要件であり、ICTの利活用は業務改善を促す効果的な解決策である。本研修は、組織の業務改善効率化を実現するための実践的ICTスキルの習得を目的とする。なお、特に途上国のニーズが高い以下4つの要員育成コースに重点を置く。		
ITアーキテクト CIO補佐 セキュリティ		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 上流工程を行えるICT人材が中央政府および地方自治体に育成され、行政サービスが安定的・効果的に提供される。		【対象組織】 中央政府各省庁または地方自治体等の公的機関。
【成果】 ＜単元目標1＞ 所属組織の業務プロセスに係る現状を分析し、問題点を把握することが出来る。 ＜単元目標2＞ ICTソリューションの設計・開発に有効な方法を検討し、説明することが出来る。 ＜単元目標3＞ 適切なICTソリューションの提案、構築や運用改善(設計・開発・管理)ができる。 ＜単元目標4＞ 所属組織の業務上の課題に対する解決策をまとめたプロジェクトの企画ができる。		【対象人材】 ICTオフィサーもしくは情報エンジニアをバックグラウンドとする政府・行政機関の職員。
内 容		
研修の主な内容は以下の通り。学んだ知識の実践に重点を置いた研修構成となっている。 【事前活動】 所属組織のミッション、業務内容、ICTを用いた課題と改善案を記載したジョブレポートを提出する。 【本邦活動】 単元目標の達成の為に、研修員は以下の活動を行う。 1. 事例研究：公的機関、企業、データセンター等を視察し、本邦におけるICT利活用の実例を研究する。 2. 講義：先進技術、ヒューマンスキル、業務要件分析、BCP、ICTソリューションの設計・開発など。 3. 演習：業務改善を目指したICT利活用プロジェクトの全行程を実体験する実例を使う。 4. アクションプラン：行政サービス向上における組織課題の解決方法を策定する。		本邦研修期間 (A) 2019/8～2020/1 (B) 2019/11～2020/3 (C) 2020/2～2020/6
		担当課題部 社会基盤・平和構築部
		所管国内機関 (A) JICA沖縄（研修業務） (B) JICA沖縄（研修業務） (C) JICA沖縄（研修業務）
		関係省庁
		実施年度 2017～2019
主要協力機関	(A) 富士通株式会社/(B) 富士通株式会社/(C) 富士通株式会社	
特記事項 及び ホームページ	本邦研修期間の間で下記3コースをそれぞれ約4ヶ月間実施を想定 (A) コース：ITアーキテクト (B) コース：CIO補佐 (C) コース：情報セキュリティ 富士通株式会社ホームページ http://www.fujitsu.com/global/	